

2022 年度 事業報告書

(2022 年 4 月 1 日から 2023 年 3 月 31 日まで)

学校法人 中内学園

一	学校法人の概要
---	---------

①建学理念及び教育の特色

【建学理念】

流通を科学的に研究教育することを通じて、世界の平和に貢献し、真に豊かな社会の実現に貢献できる人材を育成する。

【教育の特色】

「流通・マーケティング」を研究し、学ぶということが全学的に共通した教育の大前提であり、学部・学科・コースとも、それぞれの教育特性を活かした切り口で「流通・マーケティング」を学び、さらに常に動態化している第三次産業の市場や生活者の変化に適応でき、使える学問としての「実学」で学ぶことが本学の教育の特色である。また、2015年度、大幅なカリキュラムの改訂を行い、入学直後の半年間を自分の将来の目標を見つけるための期間とする気づきの教育(本学独自の初年次教育)を導入。2019年度のカリキュラム改訂については、「考える学習型授業」を通じた論理的思考力等の汎用的能力の育成、及び社会人としての基礎的能力の確実な修得を目指した授業改革を推進するための基盤を築くことに重点をおき実施した。

【将来に向けてのビジョン】

大学を取り巻く外部環境・内部環境の想定を超える変化の早さに対応し、本学が勝ち残るための中内学園中長期計画(N-PLAN)を、2010年度からの中長期計画である「RYUKAプラン21」において実施中の内容を包含した上で、第一次計画(2012～2014年度)を策定・実施。その後、第二次計画・第三次計画を策定・実施。2019年度に、第三次計画をベースに、教育改革を中心とした第四次計画(2020～2024年度)を策定。“流通科学大学オンリーワン・ナンバーワンの教育力構築”を推進する。

②沿革

1979(昭和 54)年	5 月	中内切、流通関係の大学設立構想発表
1984(昭和 59)年	3 月	流通科学大学(仮称)設立事業計画策定
1985(昭和 60)年	6 月	流通科学大学設立準備財団設立発起人総会 中内切を設立代表者に選任
1986(昭和 61)年	1 月	「財団法人 流通科学大学設立準備財団」認可・登記
1987(昭和 62)年	12 月	学校法人中内学園 寄附行為認可及び流通科学大学認可
1988(昭和 63)年	1 月	学校法人中内学園設立登記
1988(昭和 63)年	4 月	流通科学大学 商学部(流通学科／経営学科)開設
1991(平成 3)年	12 月	寄附行為変更認可及び情報学部設置認可
1992(平成 4)年	4 月	情報学部(経済情報学科／経営情報学科)開設
1993(平成 5)年	12 月	寄附行為変更認可及び商学部(ファイナンス学科／サービス産業学科)設置認可
1994(平成 6)年	4 月	商学部(ファイナンス学科／サービス産業学科)開設
1995(平成 7)年	12 月	寄附行為変更認可及び大学院(流通科学研究科)設置認可
1996(平成 8)年	4 月	大学院(流通科学研究科 修士課程)開設
1997(平成 9)年	9 月	中内記念館(10 周年記念事業)竣工
1997(平成 9)年	12 月	大学院(流通科学研究科 博士後期課程)設置認可
1998(平成 10)年	4 月	大学院(流通科学研究科 博士後期課程)開設
2001(平成 13)年	4 月	サービス産業学部(観光・生活文化事業学科／医療福祉サービス学科)開設
2005(平成 17)年	3 月	商学部サービス産業学科廃止
2006(平成 18)年	4 月	アスレチック棟(20 周年記念事業)竣工
2006(平成 18)年	9 月	中内切記念館開設(中内記念館を改装)
2006(平成 18)年	9 月	流通資料館開設
2007(平成 19)年	7 月	講義棟 6(20 周年記念事業)竣工
2008(平成 20)年	8 月	第二クラブハウス竣工
2009(平成 21)年	10 月	流通科学大学野球場竣工
2010(平成 22)年	4 月	校歌「神戸の風は」完成
2010(平成 22)年	6 月	中内切記念館リニューアル
2011(平成 23)年	4 月	商学部(商学科)開設
		※商学部 流通学科、経営学科、ファイナンス学科を改組
		総合政策学部(総合政策学科)開設
		※情報学部 経済情報学科、経営情報学科を改組
		サービス産業学部(観光学科、サービスマネジメント学科)開設
		※サービス産業学部 観光・生活文化事業学科、医療福祉サービス学科を改組
		リテール科学研究所設立

2011(平成 23)年	9 月	キャッシュレジスター博物館開設
2012(平成 24)年	2 月	第三クラブハウス竣工
2015(平成 27)年	4 月	商学部(経営学科／マーケティング学科)開設 ※商学部 商学科を改組 経済学部(経済学科／経済情報学科)開設 ※総合政策学部 総合政策学科を改組 人間社会学部(人間社会学科／観光学科／人間健康学科)開設 ※サービス産業学部 観光学科、サービスマネジメント学科を改組
2015(平成 27)年	9 月	流通資料館改め、ダイエー資料館開設
2016(平成 28)年	3 月	商学部流通学科及びファイナンス学科廃止
2016(平成 28)年	9 月	附属図書館リニューアル
2017(平成 29)年	5 月	情報学部経済情報学科廃止
2018(平成 30)年	2 月	国際交流施設学生寮竣工
2018(平成 30)年	3 月	商学部経営学科廃止 サービス産業学部観光・生活文化事業学科及び医療福祉サービス学科廃止
2018(平成 30)年	10 月	情報学部及び情報学部経営情報学科廃止
2021(令和 3)年	3 月	商学部商学科、総合政策学部総合政策学科、サービス産業学部観光学科及びサービスマネジメント学科廃止
2022(令和 4)年	8 月	中内功生誕 100 年記念事業

③設置学校等

理事長 中内潤

流通科学大学

所在地:神戸市西区学園西町 3-1

学 長:藤井 啓吾

流通科学大学大学院

所在地:神戸市西区学園西町 3-1

学 長:藤井 啓吾

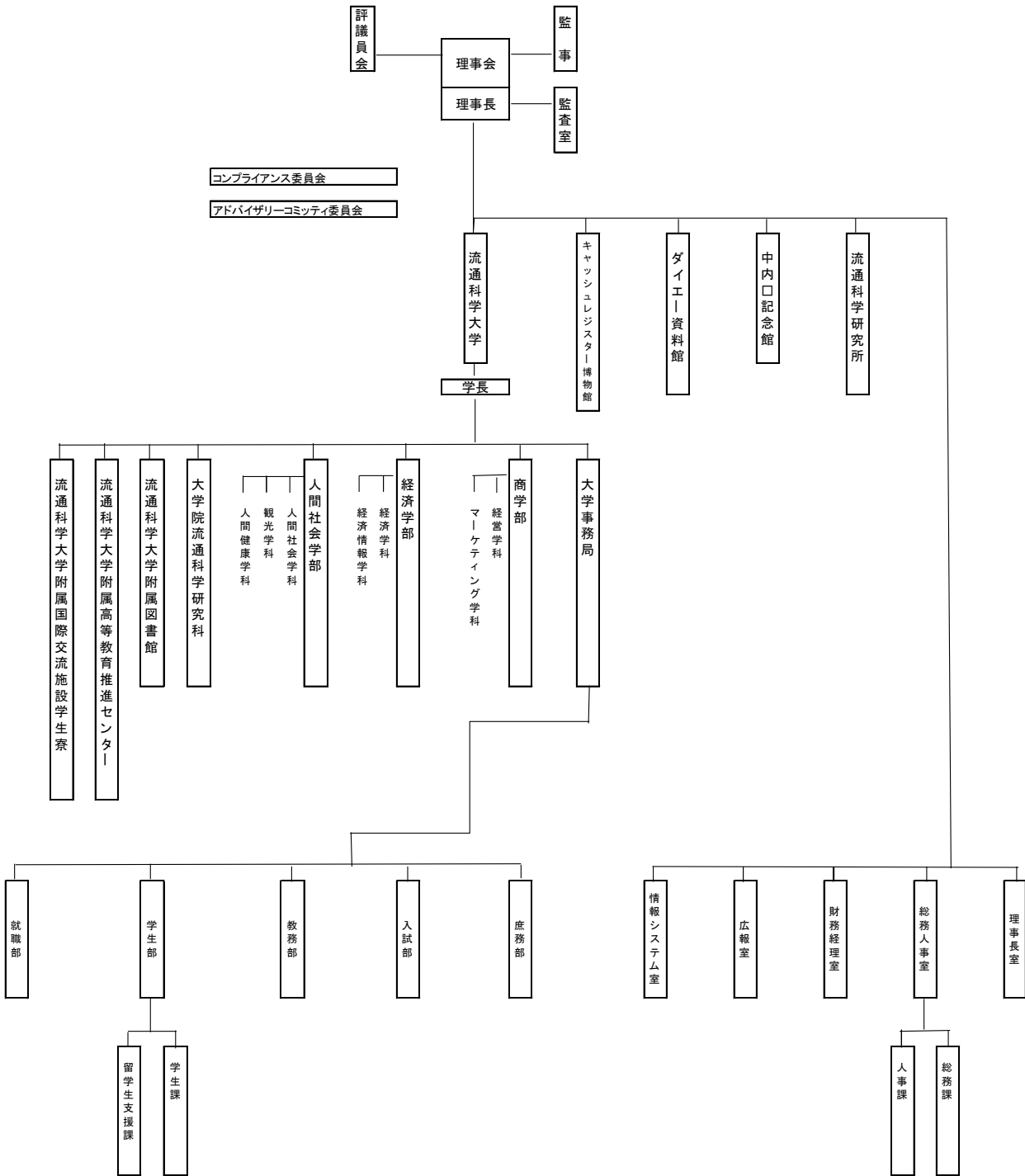
④役員及び教職員に関する情報

(2022.5.1 現在)

理事	10 名	(うち学内理事)	5 名	(うち学外理事)	5 名	(定員数)	8 名以上 13 名以内		
監事	3 名	(定員数)	2 名以上 4 名以内						
評議員	22 名	(定員数)	20 名以上 32 名以内						
教員	104 名	(うち教授)	54 名	(うち准教授)	37 名	(うち講師)	13 名	(うち兼務)	35 名
		平均年齢(教授)	58 歳	平均年齢(准教授)	47 歳	平均年齢(講師)	45 歳		
職員	153 名	(うち正職員)	60 名						
		平均年齢(正職員)	40 歳						

理事、監事、評議員(2022年4月1日現在)						
		所属	役職	氏名	就任年月日	常勤・非常勤
理事	1	流通科学大学	職員	大野 康人	2017年4月1日	常勤
	2	株式会社美十	代表取締役社長 CEO	酒井 宏彰	2017年4月1日	非常勤
	3	特定非営利活動法人 ジャパン・フィルムコミッション	顧問	田中 まこ	2017年4月1日	非常勤
	4	学校法人中内学園	理事長	中内 潤	2002年11月13日	常勤
	5	学校法人中内学園	学園長	中内 希	2016年4月1日	非常勤
	6	日本郵政株式会社	社外取締役	広野 道子	2017年4月1日	非常勤
	7	流通科学大学	学長	藤井 啓吾	2020年4月1日	常勤
	8	学校法人中内学園	職員	細峪 輝行	2017年4月1日	常勤
	9	学校法人中内学園	職員	前川 守	2020年4月1日	常勤
	10	一般社団法人全国スーパーマーケット協会	会長	横山 清	2011年4月1日	非常勤
監事	1	多聞法律事務所	弁護士	田中 久雄	2017年2月1日	非常勤
	2	学校法人中内学園	監事	山本 隆俊	2017年4月1日	非常勤
	3	中央興産株式会社	代表取締役	尤 昭福	2008年4月1日	非常勤
評議員	1	流通科学大学	商学部 教授	井上 芳郎	2017年4月1日	
	2	有朋会	副会長	茨木 耕司	2014年4月1日	
	3	有朋会	神戸支部長	岩佐 美千子	2020年4月1日	
	4	流通科学大学	人間社会学部 教授	大島 秀武	2020年4月1日	
	5	流通科学大学	職員	大野 康人	2016年4月1日	
	6	有朋会	会長	岡本 一展	2015年11月1日	
	7	ゆう税理士事務所	代表・税理士	小林 優子	2020年4月1日	
	8	流通科学大学	副学長	清水 信年	2018年4月1日	
	9	株式会社合食	代表取締役社長	砂川 雄一	2017年4月1日	
	10	株式会社みなと銀行	代表取締役社長	武市 寿一	2021年6月1日	
	11	株式会社淡路屋	代表取締役社長	寺本 督	2020年4月1日	
	12	学校法人中内学園	理事長	中内 潤	2020年4月1日	
	13	株式会社神戸クルーザー	会長	南部 真知子	2020年4月1日	
	14	流通科学大学	副学長	福田 司文	2010年4月1日	
	15	流通科学大学	学長	藤井 啓吾	2012年4月1日	
	16	学校法人中内学園	職員	細峪 輝行	2017年4月1日	
	17	学校法人中内学園	職員	前川 守	2020年4月1日	
	18	株式会社ひめや	代表取締役社長	三浦 芳嗣	2014年4月1日	
	19	流通科学大学	商学部 教授	持田 信治	2020年4月1日	
	20	株式会社中新ビル	代表取締役社長	門 日勲	2014年4月1日	
	21	流通科学大学	経済学部 教授	八木 雅史	2020年4月1日	
	22	播州信用金庫	理事長	和田 長平	2005年4月1日	

⑤学校法人の組織図(2022.4)



⑥法人が関連する会社

- 1.会社名 流科サービス株式会社
- 2.事業内容 学内のコンビニエンスストア経営、教職員及び学生用パソコン・システムサポート、自動販売機の管理、
椅レンタル 等
- 3.決算状況 総資産 29,421 千円、純資産 21,965 千円、資本金 10,000 千円(中内学園 100%出資)
売上高 51,230 千円、営業利益 6,129 千円、経常利益 6,780 千円(2022 年度)
なお、コンビニエンスストアは FC 契約に基づく店利益を、売上高に算入。
- 4.従業員数等 取締役 2 名、従業員 28 名(内訳:正社員 3 名、嘱託社員 2 名、ローソククルー及びアルバイト 23 名)

二	事業の概要
---	-------

(1) 中長期計画および2022年度事業計画の進捗・達成状況

<「中内学園中長期計画（第四次）2020～2024年度」の達成状況>

1. 教学（教育改革）

・教育内容の質的向上

- ▶「学びの質保証プロジェクト」の中で考える学習型授業推進について報告
考える学習型授業についてFD研修会を1回実施
- ▶ルーブリックを自己発見とキャリア開発Aの授業については各プログラムで導入完了。

・夢の種プロジェクトの進化

- ▶キャリアアップセミナー（起業・事業承継）※新規
定員：20名、申込者数：20名、達成率100%
- ▶キャリアアップセミナー（観光振興・地域創生）※新規
定員：40名、申込者数：42名、達成率105%

・退学・除籍者数減

- ▶退学除籍者数140名（目標達成）（前年度より28名減）

・修士課程ならびに博士後期課程における定員充足率の向上

- ▶修士課程 41名（定員充足率102.5%）（前年度32名・前年度比128.1%）
- ▶博士後期課程 5名（定員充足率33.3%）（前年度3名・前年度比166.7%）

2. 教学（大学戦略）

・全学的なマーケティングの浸透に向けて

- ▶社会共創プログラムへの教員参加数32名（目標達成80%）（前年度22名・前年度比145.5%）

・高大連携の深化

- ▶RYUKAスピーチ朗読コンテスト（対面）、高校生及び日本語学校生68名参加（前年度70名）

3. 教学（内部質保証システムの推進）

・教学・人事・施設・財務の重点項目を実施、「中内学園中長期計画（第四次）2020～2024年度」の大目標を達成することに寄与する内部質保証システムを再構築する

・内部質保証の推進に責任を負う組織を整備し、大学全体として整合性のとれた内部質保証体制を構築する

- ▶内部質保証システム構築の一環として、学生の学習成果の客観的な把握、可視化を図るための外部のアセスメントテスト（PROG）を導入。1年生および3年生に対して実施し、そこから得られたデータの分析、学生への可視化などを進めた。

4. 人事

- ・教育力を最大に伸ばすための評価制度構築・実施

- ・教員表彰制度「中内賞」 2022 年度グループ表彰 1 グループ、個人表彰 5 名

- ・中期推移による教職員数動向を把握した採用計画実施

- ＜教員採用＞

- ・2023 年度の教員数は 106 名。

- ＜職員採用＞

- ・中途 3 名入職

- ・職員のキャリアディベロップメント構築と実施

- ・新人事制度について、2022 年 4 月に運用を開始。よりよい制度となることを目指し、今後の制度運用を通じて、改善点・疑問点等の対応を進める。

5. 施設

- ・単年度事業計画・予算に基づく施設設備メンテナンス

- ・単年度事業計画・予算に基づくシステムの安定運用およびリプレイス

計画通りに実施完了。

6. 財務

※百万円未満四捨五入

- ・単年度キャッシュフロー、プラスの継続および事業活動収支の均衡を達成するための経費コントロールの実施

(資金収支)

- ・人件費 2,102 百万円（前年度比 101.0%）
 - ・教育研究経費 1,646 百万円（前年度比 108.4%）
 - ・管理経費 455 百万円（前年度比 105.8%）

(事業活動収支)

- ・人件費 2,141 百万円（前年度比 101.2%）
 - ・教育研究経費 2,191 百万円（前年度比 105.6%）
 - ・管理経費 500 百万円（前年度比 104.8%）

- ・新たな収入源確保

- ・寄付金収入 131 百万円（前年度 57 百万円・前年度比 229.8%）
 - ・補助金収入 582 百万円（前年度 508 百万円・前年度比 114.6%）

<2022 年度事業計画 達成状況>

※2022 年度事業は、「中内学園中長期計画（2020～2024 年度）」の重点項目に基づく、単年度の事業計画であり、奨学金に頼らない磐石な学生募集力とオンリーワン・ナンバーワンの教育力構築を実現するためのものです。

<2022 年度事業計画の大目標>

【大学部門】

1. I R推進、内部質保証高度化推進 《教学》

→PROGテストを前期に1年生、後期に3年生、合計1,478名に実施（当初1,300名を予測）

2. 学びの質保証、夢の種プロジェクトの進化 《教学》

→初年次プログラムにて、LGBTQに関するプログラムを2023年度に追加

キャリアアップセミナーに「ホテル・旅館」、「観光振興・地域創生」を新規に実施

3. 入学者数900名の必達 《教学》

→833名（目標達成率92.6%）（前年度909名・前年度比91.6%）

4. 退学・除籍率減 4.5% 《教学》

→3.6%（目標達成）

5. 進路決定率のアップ 《教学》

	2021 年度 実績	2022 年度 目標数値	2022 年度 実績
→日本人学生	86.7%	→ 88.0%	88.4%
留学生	86.7%	→ 88.0%	89.6%
全学生	86.7%	→ 88.0%	88.5%

【法人部門】

1. 2024 年 4 月～ 人間社会学部 人間社会学科 → 人間社会学部 心理社会学科に名称変更 各学科定員変更予定

2025 年 4 月～ コースの新設を検討

2. 2022 年 3 月以降、新人事制度説明会を実施。説明会中及び終了後になされた質問、その後の個別面談等の中でなされた質問、約 100 項目を Q&A 形式で周知した。

3. 教育の質向上のための施設・インフラ整備について、計画に基づき全て完了。

4. コンプライアンス委員会を定期開催。コンプライアンスに関するリーフレットを作成し学内要所に設置。ハラスメントリーフレットを作成し、学内要所に設置。

5. 単年度キャッシュフロープラス化を継続

6. 職員 PC リプレイス完了

7. ホームページアクセス数 1,203,889PV (前年度 1,210,940PV・前年度比 99.4%)

以 上

三	財務の概要
---	-------

(1) 決算の概要

① 〈貸借対照表（経年比較）〉

（単位：百万円）百万円未満は四捨五入

資 産 の 部					
科 目	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
固 定 資 産	29,469	28,391	27,984	27,519	26,404
有形固定資産	23,066	22,613	22,133	21,694	21,246
土地	10,726	10,726	10,726	10,726	10,726
建物・構築物	10,962	10,567	10,142	9,763	9,375
教育研究用機器備品	435	392	348	305	258
図書	889	872	857	843	835
管理用機器備品	54	56	60	58	53
その他	0	0	0	0	0
特定資産	4,116	4,117	4,220	4,319	4,377
その他の固定資産	2,287	1,661	1,631	1,506	782
流 動 資 産	6,373	7,390	7,597	7,924	8,940
現金預金	6,359	7,375	7,580	7,905	8,917
その他	14	15	18	19	23
資産の部合計	35,842	35,782	35,581	35,443	35,344
負 債 の 部					
固 定 負 債	1,004	1,002	1,037	1,066	1,103
退職給与引当金	1,001	1,002	1,032	1,057	1,097
その他	2	0	6	8	6
流 動 負 債	1,377	1,439	1,326	1,063	924
前受金	689	731	697	658	609
その他	687	708	629	405	315
負債の部合計	2,380	2,440	2,363	2,129	2,027
純 資 産 の 部					
基 本 金	35,681	35,875	36,030	36,233	36,366
第1号基本金	34,349	34,543	34,624	34,755	34,870
第2号基本金	0	0	73	146	164
第3号基本金	1,024	1,025	1,025	1,025	1,025
第4号基本金	307	307	307	307	307
繰越収支差額	△ 2,219	△ 2,534	△ 2,812	△ 2,919	△ 3,049
純資産の部合計	33,462	33,341	33,218	33,315	33,317
負債の部・純資産の部合計	35,842	35,782	35,581	35,443	35,344

〈主な財務比率（経年比較）〉

比率	(算式)	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
運用資産余裕比率	(運用資産-外部負債) /事業活動支出	266.5%	279.3%	268.1%	289.6%	287.1%
流動比率	流動資産/流動負債	462.9%	513.7%	573.1%	745.4%	967.6%
総負債比率	総負債/総資産	6.6%	6.8%	6.6%	6.0%	5.7%
前受金保有比率	現金預金/前受金	922.5%	1008.9%	1088.2%	1202.0%	1463.8%
基本金比率	基本金/基本金要組入額	99.8%	99.7%	99.9%	100.0%	100.0%
積立率	運用資産/要積立額	94.0%	93.0%	91.2%	89.3%	88.0%

②〈資金収支計算書〉

(単位：百万円) 百万円未満は四捨五入

収入の部	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
学生生徒等納付金収入	3,701	3,819	3,939	3,997	3,917
手数料収入	75	79	70	56	48
寄付金収入	44	83	111	57	131
補助金収入	301	316	474	508	582
資産売却収入	0	0	34	0	0
付随事業・収益事業収入	59	74	61	73	78
受取利息・配当金収入	22	29	31	33	31
雑収入	87	60	35	44	54
借入金等収入	0	0	0	0	0
前受金収入	689	731	696	658	609
その他の収入	2,965	3,450	2,200	4,708	8,627
資金収入調整勘定	△ 747	△ 695	△ 740	△ 706	△ 676
前年度繰越支払資金	6,615	6,359	7,375	7,579	7,905
収入の部合計	13,812	14,305	14,287	17,007	21,306
支出の部	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
人件費支出	2,039	2,118	2,160	2,082	2,102
教育研究経費支出	1,510	1,405	1,622	1,518	1,646
管理経費支出	410	418	463	430	455
借入金等利息支出	0	0	0	0	0
借入金等返済支出	0	0	0	0	0
施設関係支出	107	110	55	111	98
設備関係支出	237	139	50	45	27
資産運用支出	1,850	1,353	854	3,480	6,865
その他の支出	1,556	1,625	1,716	1,540	1,313
資金支出調整勘定	△ 255	△ 238	△ 214	△ 105	△ 117
翌年度繰越支払資金	6,359	7,375	7,579	7,905	8,917
支出の部合計	13,812	14,305	14,287	17,007	21,306

③〈活動区分資金収支計算書〉

(単位：百万円) 百万円未満は四捨五入

科 目		2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
教育活動による資金収支						
	教育活動資金収入計	4,267	4,389	4,679	4,735	4,810
	教育活動資金支出計	3,959	3,941	4,245	4,031	4,203
	差引	309	448	434	704	607
	調整勘定等	△ 81	132	△ 79	△ 123	△ 44
	教育活動資金収支差額	227	580	354	581	563
施設整備等活動による資金収支						
	施設整備等活動資金収入計	0	42	12	0	0
	施設整備等活動資金支出計	344	250	179	229	144
	差引	△ 343	△ 208	△ 167	△ 229	△ 144
	調整勘定等	△ 33	△ 122	19	△ 13	4
	施設整備等活動資金収支差額	△ 377	△ 330	△ 147	△ 242	△ 140
小計（教育活動資金収支差額＋施設整備等活動資金収支差額）		△ 150	250	207	339	423
その他の活動による資金収支						
	その他の活動資金収入計	2,981	3,474	2,260	4,732	8,648
	その他の活動資金支出計	3,085	2,709	2,261	4,747	8,060
	差引	△ 104	766	△ 1	△ 15	587
	調整勘定等	△ 2	1	△ 1	1	2
	その他の活動資金収支差額	△ 106	766	△ 2	△ 14	589
支払資金の増減額（小計＋その他の活動資金収支差額）		△ 256	1,016	204	325	1,012
前年度繰越支払資金		6,615	6,359	7,375	7,579	7,905
翌年度繰越支払資金		6,359	7,375	7,579	7,905	8,917

〈主な財務比率（経年比較）〉

比率	(算式)	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
教育活動資金収支差額比率	教育活動資金収支差額 / 教育活動資金収入計	5.3%	13.2%	7.6%	12.3%	11.7%

④ 〈事業活動収支計算書〉

(単位：百万円) 百万円未満は四捨五入

教育活動収支		科 目	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
		学生生徒等納付金	3,701	3,819	3,939	3,997	3,917
		手数料	75	79	70	56	48
		寄付金	46	44	106	63	132
		經常費等補助金	301	316	474	508	582
		付随事業収入	59	74	61	73	78
		雑収入	87	60	35	44	54
		教育活動収入計	4,269	4,392	4,686	4,741	4,810
		支出の部	人件費	2,089	2,119	2,190	2,116
教育研究経費	2,082		1,985	2,186	2,074	2,191	
管理経費	452		464	508	477	500	
教育活動支出計	4,623		4,568	4,884	4,668	4,833	
教育活動収支差額		△ 354	△ 176	△ 199	73	△ 23	
教育活動外収支	収入の部	科 目	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
		受取利息・配当金	22	29	31	33	31
		教育活動外収入計	22	29	31	33	31
	教育活動外収支差額		22	29	31	33	31
經常収支差額		△ 332	△ 147	△ 168	106	8	
特別収支		科 目	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
		特別収入計	15	51	66	18	9
		特別支出計	17	24	22	27	15
	特別収支差額		△ 2	27	44	△ 9	△ 6
基本金組入前当年度収支差額		△ 333	△ 120	△ 124	97	3	
基本金組入額合計		△ 79	△ 195	△ 154	△ 204	△ 133	
当年度収支差額		△ 412	△ 315	△ 278	△ 107	△ 130	
前年度繰越収支差額		△ 1,807	△ 2,219	△ 2,534	△ 2,812	△ 2,919	
基本金取崩額		0	0	0	0	0	
翌年度繰越収支差額		△ 2,219	△ 2,534	△ 2,812	△ 2,919	△ 3,049	
(参考)							
事業活動収入計		4,306	4,472	4,782	4,792	4,850	
事業活動支出計		4,640	4,592	4,906	4,695	4,848	

〈主な財務比率（経年比較）〉

比率	(算式)	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
人件費比率	人件費/経常収入	48.7%	47.9%	46.4%	44.3%	44.2%
教育研究経費比率	教育研究経費/経常収入	48.5%	44.9%	46.3%	43.5%	45.3%
管理経費比率	管理経費/経常収入	10.5%	10.5%	10.8%	10.0%	10.3%
事業活動収支差額比率	基本金組入前当年度収支差額/事業活動収入	△7.7%	△2.7%	△2.6%	2.0%	0.1%
学生生徒等納付金比率	学生生徒等納付金/経常収入	86.2%	86.4%	83.5%	83.7%	80.9%
経常収支差額比率	経常収支差額/経常収入	△7.7%	△3.3%	△3.6%	2.2%	0.2%

(2) その他

①有価証券の状況

(単位:円)

種 類	勘定科目	当年度(令和5年3月31日)		
		貸借対照表計上額	時 価	差 額
時価が貸借対照表計上額を超えないもの	有価証券	700,000,000	675,510,000	△ 24,490,000
(うち満期保有目的の債券)		700,000,000	675,510,000	△ 24,490,000
合 計		700,000,000	675,510,000	△ 24,490,000
(うち満期保有目的の債券)		700,000,000	675,510,000	△ 24,490,000

(注) 前掲有価証券の時価情報には次の債券が含まれている。

(単位:円)

種 類		当年度(令和5年3月31日)		
		貸借対照表計上額	時 価	差 額
株価指数リンクユーロ円建債	時価が貸借対照表計上額を超えないもの	500,000,000	486,100,000	△ 13,900,000
円貨建て仕組債	時価が貸借対照表計上額を超えないもの	100,000,000	92,380,000	△ 7,620,000
ユーロ円エクイティ・リンク債	時価が貸借対照表計上額を超えないもの	100,000,000	97,030,000	△ 2,970,000

当法人において運用する金融商品は、満期保有目的である。これらの債券は満期償還時に、基本的には元本が確保されており、運用期間中の時価が貸借対照表計上額を下回っていても、その差損が実現する可能性は極めて低い。

(単位:円)

種 類	勘定科目	当年度(令和5年3月31日)		
		貸借対照表計上額	時 価	差 額
債 券	有価証券	700,000,000	675,510,000	△ 24,490,000
株 式	—	—	—	—
投資信託	—	—	—	—
貸付信託	—	—	—	—
合 計	有価証券	700,000,000	675,510,000	△ 24,490,000

②借入金の状況

該当ありません。

③学校債の状況

該当ありません。

④寄付金の状況

特別寄付金 131,470,000 円
現物寄付 660,879 円
施設設備に係る現物寄付 8,981,811 円

⑤補助金の状況

国庫補助金 581,171,200 円
地方公共団体補助金 463,186 円

⑥収益事業の状況

該当ありません。

⑦関連当事者等との取引の状況

ア) 関連当事者

(単位:円)

属性	役員、法人等の名称	住所	資本金又は出資金	事業内容又は職業	議決権等の所有割合	関係内容		取引の内容	取引金額	勘定科目	期末残高
						役員の兼任等	事業上の関係				
監事	田中久雄	—	—	弁護士	—	—	—	弁護士報酬	1,320,000	支払報酬	—

(注) 田中久雄氏が代表を務める多聞法律事務所と顧問弁護士契約を締結しており、年間の取引金額を記載している。

イ) 出資会社

当学校法人の出資割合が総出資額の2分の1以上である会社の状況は、次のとおりである。

1. 名称及び事業内容 流科サービス株式会社

コンビニエンスストア経営・自動販売機の管理・学校運営にかかる業務の受託(システムの保守等) その他左記に付帯する一切の業務

2. 資本金の額 10,000,000 円 (1,000 株)

3. 学校法人の出資金額等及び当該会社の総株式等に占める割合並びに当該株式の取得日

平成10年	5月21日	5,000,000 円	100株
平成13年	4月26日	21,825,000 円	450株
平成13年	11月30日	△ 2,280,261 円	△51株
平成14年	3月31日	△ 207,162 円	評価損
平成15年	3月31日	△ 15,655,476 円	評価損
平成16年	3月31日	△ 915,166 円	評価損
平成16年	9月30日	7,798,000 円	501株
令和3年	3月31日	△ 5,564,935 円	減資
合 計		10,000,000 円	1,000株 100%

4. 当期中の学校法人と当該会社との取引等の額

(単位:円)

当該会社からの受入額	業務委託費	1,200,000	寄付金	8,000,000
当該会社への支払額	業務委託費	29,318,432	消耗品等購入額	440,845
	手数料	9,513,513	什器備品費	397,832
	保守料	501,046	修繕費	5,101,723
	会議費	2,072,005		

(注) 流科サービス株式会社の賃貸料、光熱水費は免除している。

	期首残高	資金支出等	資金収入等	期末残高
当該会社への出資金等	10,000,000	0	0	10,000,000
当該会社への未払金	844,028	844,028	236,957	236,957

5. 当該会社の債務に係る保証債務

該当ありません。

⑧学校法人間財務取引

該当ありません。

(3) 経営状況の分析、経営上の成果と課題、今後の方針・対応方策

〈概況〉

2022年度は、引き続き新型コロナウイルス感染症の影響を受けながらも、授業が全面対面授業に戻るなどコロナ禍前の教育研究活動の状態に近づいたこと、また物価上昇の影響を受けたことにより、教育研究経費支出が前年度と比較し約1億円増となりました。収入面では補助金が約8千万円近く増となり、当年度の経常収支差額はほぼ収支均衡状態を保つことができました。

なお、中期財務計画に定めた財務比率目標との比較は以下のとおりです。

- ・人件費比率 44.2% (目標 53.0%)
- ・教育研究経費比率 45.3% (目標 44.0%)
- ・管理経費比率 10.3% (目標 10.2%)
- ・経常収支差額比率 2.2% (目標△7.2%)

〈成果〉

- ・経常費等補助金等の増加により、教育活動収入は前年度より約7千万円増加し、過去5年間で最高の約48億円となりました。
- ・経常収支が約890万円の収入超過となりました。

〈課題〉

- ・教育研究経費比率が45.3%と前年度より1ポイント増加し、全国平均を大幅に上回っています。今後、収支均衡を永続的に継続するためには更なる経費コントロール等が必要です。

〈今後の方針・対応方策〉

中内学園中長期計画(N-PLAN)に定めた中期財務計画に基づき、今後の18歳人口減少、依然として続く物価高等、より一層厳しさを増す外部環境を十分に考慮し、更なる経費コントロールおよび収入増の施策を検討・実行し、収支均衡を保った上で各種事業を進めてまいります。

⑨学生支援と奨学金に関する情報

< 学生支援組織 >

学生支援	組織名	機能
就職支援	就職部	・就職ガイダンス ・留学生就職ガイダンス ・個別面談・面接トレーニング ・グループワーク、グループディスカッション練習 ・就職対策宿泊セミナー ・就職父母懇談会 ・就活アドバイザー・チューター制度 ・業界研究セミナー、学内企業説明会 ・SPI対策講座、SPI対策模擬試験 ・Uターン就職支援
進学支援	入試部 教務部	・大学院入試制度の紹介等
学修支援	教務部	・卒業要件、単位修得状況、履修計画など学修・成績などに関する相談受付(随時)、低単位取得者面談 ・学修相談会(年5回程度)
生活支援(住居・アルバイト等)	学生部学生課 学生部留学生支援課	・不動産会社の紹介(下宿) ・掲示板を通じてのアルバイト紹介
経済支援	学生部学生課 学生部留学生支援課	・日本人学生・留学生・帰国生徒・大学院生対象の各種奨学金紹介 ・学費延納手続き
保健・衛生・メンタルヘルス等	学生部学生課 (保健室) (学生支援室)	・学校医による定期的な健康相談(内科医、精神科医) ・健康相談 ・臨床心理士による心の相談やスキルトレーニング等 ・怪我、体調不良の際の応急手当、病院の紹介等 ・健康教育(喫煙、食生活、アルコール、ドラッグ、日常生活リズムなど) ・保険加入、請求手続き ・健康診断

(3) 管理運営の概要

【ガバナンス】

「理事会」……………学校法人の業務を決し、理事の職務の執行を監督する。

「常任理事会」……………理事会の決定した方針に基づき、学園運営全般に係る具体的施策の策定に関する事項、その他学園の運営に関する重要事項を決定する。

「評議員会」……………予算、事業計画、寄附行為の変更等について、理事長があらかじめ諮問する。

「学長会議」……………本学の学則その他教学に関する重要な規則、本学の重要な施設設備、本学の入試制度・募集定員及び入試日程、本学学生の卒業の要件の基準、本学学生の身分・懲戒及び学生支援、本学の教育課程の編成、その他本学の運営に関する学長の諮問等について調査審議する。

「教授会」……………学生の入学及び卒業、学位の授与、教育研究に関する重要な事項で、教授会の意見を聴くことが必要として学長が定めるものについて学長が決定を行うに当たり意見を述べる。その他、学長及び学部長がつかさどる教育研究に関する事項について審議し、及び学長等の求めに応じ、意見を述べる。

「研究科委員会」……………学生の入学及び課程の修了、学位の授与、教育研究に関する重要な事項で、委員会の意見を聴くことが必要として学長が定めるものについて学長が決定を行うに当たり意見を述べる。その他、学長及び研究科長がつかさどる教育研究に関する事項について審議し、及び学長等の求めに応じ、意見を述べる。

2021 年度の開催回数について

理事会	4 回	学長会議	13 回
常任理事会	0回	教授会	54 回(商学部 18 回、経済学部 18 回、人間社会学部 18 回)
評議員会	4 回	研究科委員会	8 回

【内部質保証方針】

1. 内部質保証に関する本学の基本的な考え方

①本学において「内部質保証」とは、本学における教育の企画・設計、運用、検証及び改善・向上の一連の過程を重ねることを通じて、本学が行う教育及び本学学生の学びの質の向上を図るとともに、これらが適切な水準にあることを説明し証明していくための恒常的・継続的なプロセスをいう。

②本学は以下によって定めるところに従い、教育活動を実施するとともに、その基盤の整備を図る。これらは、本学における内部質保証の基点となるとともに、内部質保証の過程において、必要に応じそれ自体が検証・改善の対象となる。

- ・本学学則その他本学の理念・目的を明示した規則・文書等
- ・本学の各学部及び流通科学研究科における「卒業認定・学位授与の方針」(ディプロマ・ポリシー)、「教育課程編成・実施の方針」(カリキュラム・ポリシー) 及び「入学者の受入れ方針」(アドミッション・ポリシー)
- ・学園又は本学が本学の教育活動その他の事業活動に関して定める諸方針及びそれらに関して策定する諸施策
- ・学園が策定する中長期計画及びこれに基づく単年度ごとの事業計画

③本学は内部質保証の推進に関する組織体制及び手続を適切に整備し運用することを通じて、内部質保証の実質化を図る。

2. 内部質保証の推進に関する組織体制

①教育審議会をもって本学における全学的な内部質保証の推進に責任を負う組織とする。教育審議会の権限・組織等については、「流通科学大学教育審議会規則」の定めるところによる。

②教育審議会以外の全学的組織及び学部・研究科その他の学内各組織（以下「学内各組織」という。）における内部質保証の推進に関する組織体制については教育審議会の審議を経て、学長が別に定める。

③教育審議会は、学内各組織において内部質保証を推進するにあたり、その指針を策定し、提言・助言を行うとともに、学内各組織間の有機的な連携を図る。

④教育審議会に自己点検・評価専門部会を置く。自己点検・評価専門部会は、本学教職員の中から教育審議会座長が指名する委員によって構成し、次の各号に掲げる事項を行う。

(ア) 全学的な観点から行う自己点検・評価の企画及び実施

(イ) 学内各組織において実施する自己点検・評価に対する指針の策定、助言及び支援

(ウ) 全学的な観点からの自己点検・評価報告書の取りまとめ

3. 内部質保証推進体制の運営

- ① 本学が行う教育及び本学学生の学びの質の向上を図るためには、教育課程内・外の区分を問わず、学内各組織のすべてにおいて内部質保証を推進するとともに、学内各組織の構成員である教職員が、各自担当する科目や職務においても内部質保証の過程を重ねることが求められる。教育審議会は、これらの活動が効果的に進められるよう、その指針を策定し、提言・助言を行うとともに、学内各組織間や各教職員間の有機的な連携を図る。
- ② 本学が行う教育及び本学学生の学びの実態や成果等に関する客観的なデータの収集・分析を行い、それらに基づく自己点検・評価を通じた信頼性の高い内部質保証を図る。
- ③ 本学が行う教育及び本学学生の学びに対する社会的要請の動向・変化を的確にとらえ、継続的にそれらの改善・向上を図る。その一環として、外部評価・第三者評価及び認証評価機関による認証評価結果を適切に活用するとともに、本学が実施する自己点検・評価の客観性及び妥当性の確保を図る。
- ④ 全学的な観点からの自己点検・評価結果、外部評価・第三者評価結果及び認証評価機関による認証評価結果を適切な手段・方法によって公表する。

【情報公開】

流通科学大学は学校教育法施行規則第 172 条の 2 に基づき、公表すべき教育研究活動の状況をホームページ上において公開し、公正かつ透明性の高い運営の実現に努めている。

【施設設備整備】

＜大学の全体イメージマップ＞



＜概要＞

1. ベルタタワー
2. 附属図書館・・・1F:ラーニングcommonsを設置(グループ学習等の利用が可能)
2F:学生専用自習室を設置
3. メディアセンター・・・1F:PC 個人席 45 席
2F:PC 個人席 16 席、グループ席 6 席、ソファ席 14 席、ノートPC16 台、MacPC2 台
4. 本部棟(事務局・受付)・・・庶務部
5. 中内功記念館・・・1997 年 9 月開館
6. 思索の中庭
7. 講義棟 1、研究棟 1
8. 大学院
9. ダイエー資料館
10. 講義棟 2、研究棟 2
11. 講義棟 3、研究棟 3
12. 保健室
13. 講義棟 5、研究棟 5
14. クラブハウス・・・第 1、第 2、第 3 クラブハウスを設置
15. アスレチック棟・・・コート 2 面(観客席あり)、武道場 2 面、スタジオ 1 面設置(空調完備)
16. 講義棟 6・・・1F:教務部・就職部・学生部、2F:PC 演習室、3F:大教室、中教室

- 17.学生用駐車場
- 18.RYUKA HALL
- 19.ローソン流科大実習店
- 20.RYUKA DINING(レストラン)
- 21.テニスコート(6 面)
- 22.人工芝グラウンド(夜間照明つき)
- 23.西グラウンド
- 24.国際交流施設学生寮・・・和室、自習室、多目的室(2 室)、レクリエーションルームを設置。寮室は全 192 室(個室)

<大学全体について>

・校地

総面積

流通科学大学キャンパス 164,454.91 平方メートル

・建物

延床総面積 52,783.39 平方メートル

・講義棟

1. 講義棟 1

延床面積 4759.86 平方メートル 3 階建 1988 年 1 月完成

2. 講義棟 2

延床面積 4659.56 平方メートル 8 階建の内の 1～3 階 1992 年 3 月完成

3. 講義棟 3

延床面積 2391.68 平方メートル 5 階建の内の 1～3 階 1994 年 3 月完成

4. 講義棟 4

延床面積 2205.79 平方メートル 地下 1 階付き 2 階建 1994 年 3 月完成

5. 講義棟 5

延床面積 5618.35 平方メートル 4 階建の内の 1～3 階 2001 年 3 月完成

6. 講義棟 6

延床面積 4918.49 平方メートル 3 階建 2007 年 7 月完成

・本部棟・研究棟

7. 本部棟

延床面積 2719.57 平方メートル 4 階建 1988 年 1 月完成

8. 研究棟 1

延床面積 2925.74 平方メートル 3 階建 1988 年 1 月完成

9. 研究棟 2

延床面積 2687.35 平方メートル 8 階建の内の 4～8 階 1992 年 3 月完成

10. 研究棟 3

延床面積 1196.92 平方メートル 5 階建の内の 4～5 階 1994 年 2 月完成

11. 研究棟 5

延床面積 1680.00 平方メートル 4 階建の内の 4 階 2001 年 3 月完成

・大学附属建物

12. 図書館

延床面積 1559.63 平方メートル 3 階建て 1988 年 1 月完成

蔵書数 201,808 冊、雑誌 1,288 種

13. アスレチック棟

延床面積 6571.22 平方メートル 地下 1 階付き 3 階建 2006 年 4 月完成

14. 中内功記念館

延床面積 453.02 平方メートル 地下 1 階付き 2 階建 1997 年 9 月完成

15. キャッシュレジスター博物館

延床面積 180.00 平方メートル 2 階建の内の 2 階 2011 年 9 月完成

16. RYUKA HALL

延床面積 1892.13 平方メートル 2 階建て 1988 年 1 月完成

17. RYUKA DINING(レストラン)

延床面積 3207.20 平方メートル 2 階建て 1988 年 1 月完成(1994 年 3 月増築)

18. 第 1 クラブハウス

延床面積 2216.93 平方メートル 2 階建て 1989 年 10 月完成(2000 年 1 月増築)

19. 第 2 クラブハウス

延床面積 864.00 平方メートル 2 階建て 2008 年 7 月完成

20. 第 3 クラブハウス

延床面積 441.88 平方メートル 2 階建て 2012 年 2 月完成

21. 国際交流施設学生寮

延床面積 7788 平方メートル 3 階建て 2018 年 2 月完成

寮室 192 室

22. 駐車場台数

約 400 台(学生用 313 台、教職員用 85 台)

23. 駐輪場台数

約 350 台

24. グラウンド

西側グラウンド

25. 流通科学大学野球場

敷地面積 26090.45 平方メートル 2009 年 11 月完成

(更衣室等 171.95 平方メートル)

26. 東京オフィス

賃貸面積 260 平方メートル

・大学航空写真(2018 年 2 月撮影)



(4) 上記(「(1)～(3)」)以外の特長ある取り組みの概要

①教育力向上の取り組みの概要

- ・「学生による授業改善アンケート」導入(1994年度)
- ・「学生による授業評価」結果を教職員に公表し、情報共有(2001年度)
- ・「全学的な授業公開(オープンクラスウィーク)制度」導入(2003年度)
- ・FD・SD研修会の継続実施
- ・FD・SDの推進
- ・学生カルテ、学生ポートフォリオの構築・研究
- ・学生アンケートの実施と分析
- ・教育指導法の開発・改善に関する調査研究
- ・研究会、講習会、後援会、公開講座などの開催
- ・研究成果の刊行
- ・学生の学修相談
- ・オフィスアワーや学習の場所の提供に関すること
- ・初年次教育へのCA(class assistant)制度の導入(2015年度)
- ・2016年度入学生よりGPAを導入
- ・2020年度入学生よりGPAにより履修制限数の緩和と厳格化を実施
- ・2020年度入学生より履修制限外科目の見直し(経済学部:公務員特別クラス等)
- ・「授業公開デイ(保護者参観)」を実施(保護者が実際に授業を参観し教員と意見交換可能)(2007年度)
- ・「授業公開デイ」を祝日授業日に実施(2021年度より)
- ・教職員による学修相談(2022年度前期より)

②国際交流の概要

<海外留学制度>

- ・交換留学制度
2022年度 派遣0名・受入8名(中国4名・ベトナム2名・台湾2名)
- ・認定留学制度
2022年度 派遣4名(アメリカ4名)

<海外語学研修>

- ・夏季、春季を利用した研修プログラムで、各国の大学の寮やホストファミリーの家に宿泊しながら、語学プログラムを受講。期間は3週間程度。研修実施国(地域)は、隔年でアメリカまたはニュージーランド。
- ・2/9～3/5 ニュージーランド・ワイカト大学 参加者9名(日本人8名・中国人留学生(香港)1名)

<異文化理解>

- ・2022年度は、長崎:ハウステンボス。参加者9名、引率教職員2名
※「気づきの教育」の科目として位置づけられるが、2022年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、1年次で参加ができなかった上級生も履修可能として運用。

<English Café>

- ・英語に興味はあるが、英語に自信がなく、どのように学習すれば良いかわからない状況の学生が、まず第一歩が踏み出せるように、「カフェ」のような場所を提供する。また、海外研修や短期留学に金銭的な問題で参加できない学生をフォローする意味でもこのEnglish Caféをキャンパス内ミニ留学の役割を果たす存在とする。

2022年度 [前期] 月曜日:16:20-17:20、水曜日:13:00-14:30、金曜日:14:40-16:10

延べ207名参加

[後期] 月曜日:16:20-17:20、水曜日:13:00-14:00、金曜日:14:40-15:40

延べ146名参加

<海外の提携校>

- ・台湾・・・国立高雄科技大学、南台科技大学、中国科技大学
- ・韓国・・・東亜大学校、中央大学校、東明大学校、明知大学校
- ・中国・・・南開大学、東北财经大学、大連海事大学、復旦大学経済学院、蘇州大学応用技術学院、南京大学外国部→南京大学大学外語部、四川外国語大学、天津商業大学、常熟理工学院、常州観光ビジネス高等職業技術学院
- ・ベトナム・・・貿易大学、ホーチミン市師範大学、タンロン大学、ダナン大学、ハノイ国家大学外国語大学
- ・タイ・・・カセサート大学、ブラパー大学、パンヤピワット経営大学

- ・ニュージーランド・・・ワイカト大学
- ・アメリカ・・・ポートランド州立大学、セントラルワシントン大学
- ・フィンランド・・・バーサ大学
- ・フランス・・・ESC ブルターニュブレスト

<留学生支援課>

- ・留学生が日本で学生生活を送るためには、日本の法律を遵守すると共に、一人一人の人生や目標を大学側とよく話し合い、相談しながら「なりたい自分」に向って進んで行く必要がある。特に留学生に関係する法律や入国関係の知識を持ち、留学生に寄り添って各種支援を行なうために留学生支援課が設置されている。

③社会や企業と連携した社会共創活動の概要

<活動実績（2022 年度）>

- ・第 6 回神戸学生イノベーターズ・グランプリ（I-1 グランプリ）

概要：六甲山観光株式会社の協力のもと「コロナ禍により大打撃を受けた、六甲山観光の収益改善」をメインテーマに実施。本学からは 12 チームが参加。実際に六甲山上の施設（六甲ケーブル・六甲山アスレチックパーク GREENIA・ROKKO 森の音ミュージアム・六甲ガーデンテラス）を訪れ、現状分析、データ収集、コンセプトからターゲット層などをまとめ、若者ならではの視点からそれぞれ個性あふれる提案が行われた。GREEN PEER（清水信年教授指導『商品開発特別研究Ⅱ』クラス）が優勝、king（清水信年教授指導『商品開発特別研究Ⅱ』クラス）が準優勝、摩爾 4（清水信年教授指導『商品開発特別研究Ⅱ』クラス）が特別賞を受賞。

連携先：六甲山観光株式会社

日程：2022 年 7 月～2022 年 12 月

参加状況：3 大学（本学・神戸芸術工科大学・兵庫県立大学）、15 チーム・66 名（本学：54 名・12 チーム）

- ・ Student Innovation College（S カレ 2022）

概要：マーケティングを学ぶ 31 大学 36 ゼミ 531 名の 3 年生がゼミ対抗で、8 テーマの商品企画を Facebook で公開し「いいね！」で支持を集め、コメントで改善し、発売を目指す商品企画コンテスト。「秋カン」（大会）でコンセプトを、また「冬カン」（大会）で商品化権を最終プランで競い合い、翌秋カンでは発売実績にもとづき総合優勝を争奪する。本学では、2008 年より後援団体として S カレを支援しており、清水信年ゼミが参加。

【取組テーマ】

- ・「体験価値のある段ボール商品」（株式会社美販）
- ・「地球が笑顔になる通販配送箱」（株式会社ディーエイチシー）
- ・「マグネット商品で SDGs！」（ニチレイマグネット株式会社）
- ・「未来が描けるノートづくり」（大阪書籍印刷株式会社）
- ・「アウトドア商品・PR 企画」（田村駒株式会社）
- ・「花×キャンディで SDGs」（春日井製菓株式会社）

連携先：S カレ委員会

日程：2022 年 6 月～2022 年 12 月

参加状況：全国 31 大学（愛知学院大学・追手門学院大学・大阪市立大学・関西大学・関西学院大学・京都産業大学・京都橘大学・共立女子大学・近畿大学・甲南大学・神戸大学・駒澤大学・滋賀県立大学・滋賀大学・専修大学・高崎経済大学・中京大学・同志社大学・名古屋市立大学・南山大学・日本大学・兵庫県立大学・法政大学・武庫川女子大学・武蔵野大学・明海大学・目白大学・山梨学院大学・立命館大学・流通科学大学・和歌山大学）36 ゼミ・531 名

- ・洲本市×流通科学大学 域学連携プロジェクト

概要：2020 年度にスタートした洲本市の住民や行政と連携して地域の活性化を図る課題解決プロジェクト。4 ゼミと個人エンタリーの 1 年生の 9 チームが参加。『鮎屋（あいや）地区』の観光資源・特産品を活用した地域活性化提案をメインテーマに、現地視察を行い、地域の人々との対話のなかで地域の魅力について学び、若者ならではの斬新なアイデアをまとめ提案を実施。

最優秀賞：Team あいす（辻本乃理子ゼミ）

優秀賞：すもとにすもう（白貞壬ゼミ）

連携先：洲本市

日程：2022 年 4 月～2022 年 9 月

参加状況：9 チーム（清水信年ゼミ 4 年生・白貞壬ゼミ 3 年生・辻本乃理子ゼミ 3 年生・山川拓也ゼミ 3 年生・金承珠准教授指導 1 年生（個人参加））・参加者総数 34 名

- ・尼崎市内企業魅力発信事業

概要：尼崎市役所から紹介いただくものづくり企業の技術力を生かし、マーケティングを学ぶ大学生が新商

品やマーケティングの企画提案を行う事業で、2015年度より清水ゼミが参画。2021年10月から2022年5月までの半年間、ニナクル.terraにご協力いただき、「食品サンプルを通じた新しい消費経験の提案」をテーマに食品サンプル技術の特性を生かした消費者向け新商品やイベントなどの企画、またそれを広く社会にアピールすることにつながるマーケティング施策（SNSの利用など）の提案を実施。

連携先：尼崎市経済環境局

参加状況：20名（清水信年ゼミ3年生）

・瀬戸内カレッジ

概要：JR西日本・自治体・大学が連携し、若者視点を活用した地域活性化、旅行需要の喚起、学生の成長機会の創出を目指す産官学のプロジェクト。岡山、広島、香川、愛媛の4県に、今年度は新たに山口県を加えた5県を対象に、7大学（+関西観光教育コンソーシアム）10チームが参加。本学からは羽藤ゼミが参加し、山口県周防大島町の魅力を最大限に生かすため、“アオハル”をテーマに、“合宿中の大学生”をターゲットとしたプランを提案。2年連続となるアイデア・プレゼン賞を受賞。

連携先：西日本旅客鉄道株式会社、株式会社JR西日本コミュニケーションズ

日程：2022年5月～2022年12月

参加状況：13名（羽藤雅彦ゼミ3年生）

・流通科学大学×兵庫県警察神戸西警察署連携計画：〇×クイズによる交通安全啓蒙活動

概要：神戸西警察署交通第1課と連携して地域の交通安全の向上につながる企画を検討し、実施する2021年度からの継続プロジェクト。今年度は、ホームページ形式の小学生向け交通安全〇×クイズを作成し、神戸市西区の小学校で交通安全啓蒙のための授業を実施。活動を通じた地域社会への貢献が評価され、神戸西警察署から感謝状が授与された。

連携先：兵庫県警察神戸西警察署

日程：2022年6月～2023年3月

参加状況：5名（関陽ゼミ4年生）

・千林商店街における「第6回千林昭和写真展」（中内町の歴史文化展示）

概要：2019年度より長坂ゼミの学生が、ダイエー発祥地でダイエーに親しみを持つ店主、近隣住民が多数存在する千林商店街で、ダイエーの歴史文化展示及び、クイズを実施。今年度は、本学内にある中内町記念館やダイエー資料館での調査を行い、学生が出題者として登場する千林商店街や中内町氏に関する3択クイズ動画を作成し、クイズ大会を実施。

連携先：千林商店街振興組合、京阪電鉄株式会社

日程：2022年10月～2023年1月

参加状況：14名（長坂泰之ゼミ2年生）

④地域交流・連携 活動一覧（2022年度）

・加東市との社会共創プログラム

概要：“観光”を通じた地域産業の活性化施策」をテーマに、2大学（本学・関西国際大学）、7ゼミ・13チームが参加。現地調査の結果を踏まえ、加東市の観光資源を生かし、観光を地域産業にするための観光施設の周遊プラン、既存施設の活用方法、イベント提案、情報発信など若者ならではのアイデアや視点を盛り込んで提案を実施。

最優秀賞：山川ゼミC（山川拓也ゼミ）

優秀賞：前川組（前川明ゼミ）

商工会長賞：山川ゼミA（山川拓也ゼミ）

連携先：加東市産業振興部商工観光課

日程：2022年4月～2022年10月

参加状況：2大学（本学・関西国際大学）、7ゼミ・13チーム（本学：6ゼミ（井上芳郎ゼミ3年生・上瀧真生ゼミ3年生・銅直優子ゼミ3年生・福岡寿美子ゼミ3年生・4年生・前川明ゼミ3年生・山川拓也ゼミ3年生）・10チーム・53名）

・産官学連携事業：New KOBE New Self ～在神企業への課題解決プレゼン大会～

概要：神戸の企業やまちが直面している課題を共有し、ともに解決策を考えていく課題解決プログラム。また、その過程で学生が神戸のまちの魅力、神戸経済を担う中小企業について知り、将来の職業選択に生かす機会づくりとなることを目的とした産官学連携事業。中間プレゼン大会ではそれぞれのチームが担当する企業に対して、提案を実施しそこで選ばれた1チームが最終プレゼン大会に出場。本学からは5チーム（4ゼミと個人参加チーム）が最終プレゼン大会に進出した。

【担当企業】

・秦洋二ゼミ：神戸市立須磨海浜水族園

- ・白貞壬ゼミ：株式会社 EGIJ
- ・柿沼英樹ゼミ：神戸市役所
- ・後藤こず恵ゼミ：富永貿易株式会社
- ・石橋仁美ゼミ：株式会社ラススイート
- ・個人参加 A チーム（商学部 1 年生・2 年生）：株式会社ポトマック

連携先：一般社団法人神戸青年会議所

日程：2022 年 4 月～2022 年 10 月

参加状況：45 名（秦洋二ゼミ 3 年生・白貞壬ゼミ 3 年生・柿沼英樹ゼミ 3 年生・後藤こず恵ゼミ 4 年生・石橋仁美ゼミ 3 年生・個人参加（商学部 1 年生・2 年生））

・コイズミ物流株式会社との連携企画

概要：コイズミ物流株式会社の物流センターを見学し、物流センターの改善、労働環境の改善、物流企業の PR 方法を提案するプロジェクト。物流業界についてさまざまな角度から調査を行い、データや事例を用いて提案を実施。

連携先：コイズミ物流株式会社

日程：2022 年 4 月～2022 年 10 月

参加状況：23 名（李志明ゼミ 3 年生・田中康仁ゼミ 3 年生）

・温泉街をめぐるスタンプラリープロジェクト

概要：スマホを使用し、ゲーム感覚でまち歩きを楽しむスタンプラリー企画：『てくログ』を提案し、【六甲有馬ヒルクライムフェスタ 2022】の“賑わいイベント”に於いて、学生自ら運営を実施。サイクルイベント参加者と地元の人たちとの交流促進や地域活性化に貢献した。

また、本プロジェクトの研究発表を、神戸県民センターや一般社団法人日本観光経営学会主催「第 2 回次世代観光経営フォーラム」にて、実施。次世代観光経営フォーラムでは奨励賞を受賞。

テーマ：「新時代の地域振興スタンプラリーてくログーてくログ in 有馬実践報告」

連携先：六甲有馬ヒルクライムフェスタ実行委員会

日程：2022 年 5 月～2022 年 9 月

参加状況：6 名（西村典芳教授指導【個人エントリー】：商学部 1 年生・経済学部 3 年生、2 年生・人間社会学部 3 年生、1 年生）

・地域との協働による吉野山観桜期交通対策の実施

概要：1 日に 3 万人以上が訪れる観桜期の吉野山において、観桜客の移動の円滑化を図ることを目的とした交通対策の運営を吉野町役場や吉野ビジターズビューローと協働して実施。また当日の状況や収集データ（駐車台数やシャトルバス乗車人員など）を分析し、交通対策における問題点を把握し、地域に対して改善提案を実施。

連携先：吉野町役場、吉野ビジターズビューロー

日程：2022 年 4 月～2023 年 3 月

参加状況：21 名（岸野啓一ゼミ 4 年生・3 年生）

・第 13 回関空発『学生と旅行会社でつくる』海外旅行企画コンテストに於ける（株）読売旅行との協働

概要：「関西国際空港発着の国際線航空便を利用して訪問できる国や地域」への「学生らしい斬新な発想かつ実効性のある旅行企画」を募集するコンテスト。応募総数 43 企画、最終審査に進んだ 7 企画の中から、山川ゼミの旅行企画『コロナ前は定番、コロナ後に新鮮で新しい中世と現代をタイムスリップ!? ドイツ菓子を楽しみながら世界遺産で巡るロマンチック・ドイツ 8 日間』が優秀賞受賞。

連携先：一般社団法人日本旅行業協会（JATA）関西支部、関西エアポート株式会社

日程：2022 年 4 月～2022 年 7 月

参加状況：1 名（山川拓也ゼミ 3 年生）

・神戸ワイン認知拡大プロジェクト

概要：神戸ワインが抱えている課題を解決するため、神戸ワイナリーにてブドウ生産やワイン醸造について学び、神戸ワインの認知拡大につなげる提案・企画運営を行うプロジェクト。ワインセミナーや園場での除葉作業・収穫体験を行いながら、認知拡大に向けた提案や商品開発に取り組み、10 月に神戸ワイナリーで開催された『新酒まつり』では、学生自らがぶどうの収穫からラベルデザインまでを手掛けた神戸ワイン“みのり”を販売した。また、一般社団法人日本観光経営学会「第 2 回次世代観光経営フォーラム」にて、本プロジェクトの研究発表を行い、優秀賞を受賞。

テーマ：「神戸ワイン認知拡大プロジェクト」

連携先：一般社団法人神戸農政公社

日程：2022 年 5 月～2022 年 10 月

参加状況：14 名（西村典芳教授指導【個人エントリー】：商学部 1 年生、3 年生・経済学部 2 年生、人間社

会学部 1 年生、3 年生)

・西宮ストークス (B リーグ)、目指せ集客増！プロジェクト

概要：試合を観に来てもらうきっかけをどのように作るのか、実際に会場を訪れてくれたお客様の満足度をどのように向上させ、再来場いただくのか、ホームゲームの視察や、マーケティング手法に基づく、知識とスキルを活用し多角的に集客増のための提案を実施。2023 年 3 月 5 日 (日) 西宮ストークスホームゲームにおいて、学生が提案した 3 企画 (神戸市内のキッズバスケットボールチームにより前座試合、本学ダンス部・RUBU によるハーフタイムのダンスパフォーマンス、及び抽選会) のイベント運営を学生自らが実施。

連携先：西宮ストークス

日程：2022 年 6 月～2023 年 3 月

参加状況：6 名 (西村典芳教授・青山将己講師指導【個人エントリー】商学部 3 年生・人間社会学部 2 年生、3 年生)

・神戸平野エリア KIKKAKE プロジェクト

概要：神戸市兵庫区平野地区の空き店舗を改修し、カフェ空間として整備されている「カフェ&バー」を活用し、長坂ゼミの 3 年生、2 年生がそれぞれ地域に貢献できる店を出店。社会人基礎力を養成するとともに、平野地区にない新たな価値を見出すことで、地域貢献を果たそうとする取り組み。事業計画を立て、周辺調査・分析、メニュー作成、販売促進等を学生自らがを行い、1 日限定のカフェを営業。

連携先：株式会社スクリーフ (KIKKAKE PLACE 運営)

日程：【3 年生ゼミ】2022 年 4 月～2023 年 3 月

【2 年生ゼミ】2022 年 12 月～2023 年 3 月

参加状況：29 名 (長坂泰之ゼミ 3 年生・2 年生)

・高田松原周辺に訪れる観光客をいかにしてまちなかにきていただくか

概要：陸前高田市は東日本大震災の津波被害で壊滅的な被害を受けたが、復興が進み、高田松原周辺の津波伝承館、道の駅、奇跡の一本松などの観光地には多くの観光客が来訪しつつあるものの、まちなかを来訪する観光客は一部であり、まちなかの魅力が十分に認知されていない。そのため陸前高田市の“まちなか”の活性化のため、“まちなか”を含む陸前高田の魅力を「見える化」し、新しい観光ルートを提案した。

連携先：陸前高田市役所、陸前高田商工会

日程：2022 年 6 月～2022 年 12 月

参加状況：15 名 (長坂泰之ゼミ 3 年生)

・稲美町魅力発信事業

概要：今年度は、これまでの収穫体験等のイベント企画を中心とした内容から大きく様変わりをし、町が実施しているインスタグラム事業と若手・職員研究事業の支援を実施。学生が稲美町の行事やお勧めスポットを取材し、TikTok や Youtube、Instagram などのソーシャルメディアで町の魅力を発信するためのデジタルコンテンツを作成。

連携先：兵庫県加古郡稲美町

日程：2022 年 4 月～2023 年 3 月

参加状況：26 名 (秦洋二ゼミ 3 年生・森藤ちひろゼミ 3 年生)

・(株)宿場 JAPAN に対する神戸市灘区のコミュニティ・ベースド・ツーリズム計画の提案

概要：多文化共生の基盤づくりをテーマに「地域融合型」宿泊施設の企画・運営・開業コンサルを生業とする(株)宿場 JAPAN の協力のもと、神戸市灘区水道筋商店街・灘中央市場界隈にある地域生活資源を活用した CBT (Community Based Tourism) の観点から、非観光地であるローカルな日常生活区域内での持続可能性に配慮した観光マーケティング戦略として、「新しいタイプの観光施設の創造的計画」と「新しいタイプの観光施設を媒介とした観光としての人的交流の創出」に資する提案を実施。

連携先：株式会社宿場 JAPAN

日程：2022 年 9 月～2023 年 1 月

参加状況：16 名 (山川拓也准教授指導『観光施設計画論』クラス：2 年生、3 年生)

・吉野町シェアリングエコノミーサポートⅡ

概要：地域住民とともに地域活性化に向けた取り組み、①地域住民の書籍をシェアする取り組みである「吉野まちじゅう図書館」の拡充支援 (ガイドブックのリニューアルと図書館 2 施設の立ち上げ) ②空き家や古民家を活用したプロ・アマ音楽イベント「音街道」ボランティア (音楽イベントの設営・運営・撤収)、を実施。本と音楽を介した住民間・訪問者の交流を促進した。

連携先：奈良県吉野郡吉野町役場

日程：2022 年 5 月～2023 年 3 月

- 参加状況：20名（森藤ちひろゼミ 3年生、4年生）
- 神戸市・須磨区への外国人観光客誘致に向けた観光政策の提言
概要：神戸市や近隣の須磨区の歴史や文化、現状について理解を深め、留学生の観点から神戸市や須磨区の観光活性化のための施策・政策を提言。
連携先：神戸市須磨区総務部まちづくり課、神戸市経済観光局観光企画課
日程：2022年9月～2023年2月
参加状況：34名（上田義朗ゼミ 2年生）
- 神戸商工会議所支援「岬の焙煎所」へのマーケティング提案
概要：神戸商工会議所の支援企業であるコーヒー焙煎所（「岬の焙煎所」）に対し、綿密な市場調査に基づき、学生ならではの目線からビジネス展開や新商品、新サービスなど新規顧客開拓のための提案を実施。
連携先：神戸商工会議所、岬の焙煎所
日程：2022年10月～2023年1月
参加状況：37名（後藤こず恵准教授指導『商品開発特別研究Ⅰ』クラス：2年生、3年生、4年生）
- スポーツイベントの企画運営
概要：赤穂シティマラソン大会を題材に、スポーツイベントの企画運営を学び、赤穂市に対しマラソン大会活性化のための提案を実施。
連携先：赤穂市教育委員会スポーツ推進課
日程：2022年9月～2022年12月
参加状況：13名（山口志郎准教授指導『健康サービス企画運営演習』クラス：3年生、4年生）
- 神戸空港・フジドリームエアラインズの知名度向上、利用者増に向けた提案
概要：神戸空港やフジドリームエアラインズの現状を理解し、調査を行い、株式会社フジドリームエアラインズの知名度向上、及び神戸発着を中心とした利用者増に向けた企画、提案を実施。
連携先：株式会社フジドリームエアラインズ（神戸営業支店）
日程：2022年12月～2023年2月
参加状況：16名（岡田恵実ゼミ 2年生）
- 現役大学生が企業を採点！合説プレゼンフィードバック大会
概要：2024年3月卒業予定者向けのインターンシップ合同説明会に出展する企業に対し、対象企業のブースで説明を聞いた学生が、付度・遠慮一切なしで、説明会でのプレゼンテーションや立ち居振る舞いなどについて企業を評価し、学生目線でブース説明をよりよくするための提案を実施。
連携先：株式会社ダイネンヒューマン plus
日程：2022年11月～2023年1月
参加状況：9名（前川明ゼミ 2年生）
- 流通科学大学「国際交流バスツアー」企画・運営の受託
概要：本学留学生支援課が担当する国際交流バスツアーの企画・運営に係る業務の一部について、観光商品マーケティングでの実践型プロジェクトとして実施。大学を顧客（発注者）に見立て、ツアーの企画立案・当日添乗・参加学生のフォローといった旅行業務全般を担当。
連携先：名鉄観光サービス株式会社
日程：2022年9月～2023年2月
参加状況：6名（山川拓也ゼミ 2年生）
- ロジスティクス研究発表会
概要：日雑業界や企業の現状・課題の共有、企業人との情報交流を通じて、ロジスティクスへの理解を深め、この分野を支える人材育成支援を目的とし、物流・ロジスティクス・サプライチェーンマネジメント（SCM）・流通関連を学ぶ学生を対象に、企業による事例紹介、および研究課題の出題からなる「講演会」と課題研究に取り組む学生を対象とした「フォローアップミーティング」、研究成果を発表する「研究発表会」を実施。「研究発表会」では、『ロジスティクス視点でのSDGs対応』、『災害時の物流』、『物流のデジタル化』、の3つのテーマから1つを選択し、解決案の提案・発表を実施。
連携先：日本ロジスティクス協会
日程：2022年10月～2022年12月
参加状況：12名（田中康仁ゼミ 2年生）
- NTT ドコモ レッドハリケーンズ大阪 観戦者調査プロジェクト
概要：集客増に向けた基礎資料を得ることを目的にアンケートを設計し、スタジアムにおいて観戦者調査を実施。次年度はそのデータ分析し、報告書の作成、及び報告会を実施予定。

連携先：NTT ドコモレッドハリケーンズ大阪

日程：2022 年 12 月～2023 年 3 月

参加状況：12 名（山口志郎ゼミ 2 年生）

・2022 年度人生 100 年時代の社会人基礎力育成グランプリ

概要：経済産業省がとりまとめ定義した「人生 100 年時代の社会人基礎力」の育成に資する各大学の取り組みと、その取り組みで成長を遂げた学生の多様な実例を審査、表彰し、その実例の周知を目的に実施される「人生 100 年時代の社会人基礎力育成グランプリ」に本学から、長坂ゼミと三原ゼミが参加。近畿地区予選大会で、長坂ゼミが【優秀賞】と【審査員特別賞】をダブル受賞

【長坂ゼミ】

・テーマ：カフェ出店及び観光企画提案を通じた課題先進地域の支援

～カフェ出店（神戸平野＝平野 PJ）及び観光ツアー（津波被災地＝陸前高田 PJ）～

【三原ゼミ】

・テーマ：小学校低学年を対象とした交通安全教材の開発と実践を通じて身につけた力と気づき

連携先：一般社団法人社会人基礎力協議会

日程：2023 年 1 月～2023 年 2 月

参加状況：2 チーム（長坂泰之ゼミ 3 年生、三原裕子ゼミ 3 年生・4 年生）・参加総数 8 名

・Ryuka Innovation Team (RIT)

概要：学年や学部に関係なく、商品開発などの社会共創プログラムに興味があるメンバーで、商品開発、売り場展開やプロモーションまでを含めた総合的なマーケティング課題に取り組む「Only1・No.1」の本学独自のプログラム。今年度は西神中央駅周辺の市場調査をもとに、西神中央文化・芸術ホールのプロモーション動画の作成、【六甲有馬ヒルクライムフェスタ 2022】の“賑わいイベント”としてのスタンプラリープロジェクトの企画・運営、及び「神戸ヘルスケア市民サポーター制度」について、デジタルツールを活用した調査や学生自身がモニターとして参加し、課題となっている「若～中年層の登録者増」に繋がる施策の検討を行った。

連携先：株式会社シアターワークショップ、一般社団法人 DOR、神戸芸術工科大学、
神戸医療産業都市推進機構

日程：2022 年 4 月～2023 年 3 月

参加状況：4 名（1～3 年生）

④地域交流・連携 活動一覧（2022 年度）

・トライやる・ウィーク

概要：近隣の中学校の 2 年生に 5 日間（9:00～15:00）、本学の様々な部署の仕事を体験いただく職場体験企画。

日程：2022 年 11 月 7 日（月）～11 日（金）

受入状況：3 名（太山寺中学校、桃山台中学校）

・学園夏祭り

概要：学園西町連合自治会・学園東町連合自治会主催の『学園夏祭り』が学園都市駅前のユニバードームで開催され、本学の和太鼓部と軽音楽部がステージプログラムに出演し演奏を行った。会場には子どもからお年寄りまで多くの地域の方々が来場いただく企画。

なお、2020・2021 年度は新型コロナウイルス感染症の影響により中止となったが、2022 年度については、感染症対策実施の上、ステージプログラムのみ開催された。

日程：2022 年 8 月 7 日（日）

＜奨学金＞

『日本人学生対象の奨学金制度』

「中内学園特別奨学金」

(資格) 2年次以上の学部学生で、学業成績基準・学業成績以外基準の両方を満たし、選考を通過した者

- ・各学年 10 名以内
- ・他の奨学金との重複受給可能

(支給方法) 給付

(支給期間) 1 年間

(金額) 20 万円(年額)

(2022 年度実績) 2 年生 10 名、3 年生 10 名、4 年生 5 名

「下宿サポート奨学金」

(資格) ・入学前に賃貸借契約を締結し、下宿することが決定している者

(賃貸借契約書締結の日付は 3 月 31 日までとし、入学手続き締切日までに事前申込書を提出)

- ・入学後に申請書を提出した者

(支給方法) 給付

(支給期間) 入学時 1 回限り

(金額) 20 万円

(2022 年度実績) 84 名

(備考) 外国人留学生対象の入試は除く全入試方式対象

「一般入試(前期 2 科目型)(中期 2 科目型)奨学金」(2019 年度入学生～2022 年度入学生)

(資格) 一般入試(前期 2 科目型)(中期 2 科目型)成績上位者

2019 年度入学生: (1 年次) 入試成績上位 30 名

(2 年次以降) 一定の成績条件をクリアした者

2020～2022 年度入学生: (1 年次) 入試成績上位各 10 名

(2 年次) 一定の成績条件をクリアした者

(支給方法) 減免

(支給期間) 4 年間 ※毎年審査

(金額) 2019 年度入学生: (1 位～10 位) 77 万円、(11 位～30 位) 50 万円

2020～2022 年度入学生: 38 万 5 千円

(2022 年度実績) 77 万円・・・4 年生 1 名

50 万円・・・4 年生 2 名

38 万 5 千円・・・1 年生 1 名、2 年生 0 名、3 年生 1 名

「一般入試(前期 3 科目型)(中期 3 科目型)奨学金」(2019 年度入学生～2022 年度入学生)

(資格) 一般入試(前期 3 科目型)(中期 3 科目型)成績上位者

(1 年次) 入試成績上位 5 名

(2 年次以降) 上記のうち一定の成績条件をクリアした者

(支給方法) 減免

(支給期間) 4 年間 ※毎年審査

(金額) 77 万円

(2022 年度実績) 1 年生 1 名、2 年生 0 名、3 年生 1 名、4 年生 1 名

「公募推薦入試(2 科目型)奨学金」(2019 年度入学生～2020 年度入学生)

(資格) 公募推薦入試成績上位 10 名

(1 年次) 入試成績上位 10 名(2 科目の合計得点率 70%以上の者)

(2 年次以降) 上記のうち一定の成績条件をクリアした者

(支給方法) 減免

(支給期間) 4年間 ※毎年審査
(金額) 2019年度入学生:50万円(年額)
2020年度入学生:38万5千円
(2022年度実績) 50万円:4年生0名
38万5千円:3年生2名

「公募推薦入試(前期2科目型)(後期2科目型)奨学金」(2021年度入学生～2022年度入学生)

(資格)前期2科目型:公募推薦入試成績上位10名
(1年次)入試成績上位10名(得点率70%以上の者)
(2年次以降)上記のうち一定の成績条件をクリアした者
後期2科目型:公募推薦入試成績上位5名
(1年次)入試成績上位5名(得点率70%以上の者)
(2年次以降)上記のうち一定の成績条件をクリアした者

(支給方法) 減免
(支給期間) 4年間 ※毎年審査
(金額) 38万5千円
(2022年度実績) 1年生3名、2年生1名、

「プレゼンテーション入試奨学金」(2019年度入学生～2022年度入学生)

(資格)2019～2020年度入学生:
(1年次)プレゼンテーション入試成績上位20名(得点率70%以上の者)
(2年次以降)上記のうち一定の成績条件をクリアした者
2021年度入学生:
(1年次)プレゼンテーション入試成績上位10名(得点率70%以上の者)
(2年次以降)上記のうち一定の成績条件をクリアした者
2022年度入学生:
(1年次)プレゼンテーション入試成績上位5名(得点率70%以上の者)
(2年次以降)上記のうち一定の成績条件をクリアした者

(支給方法) 減免
(支給期間) 4年間 ※毎年審査
(金額) 38万5千円
(2022年度実績) 1年生5名、2年生3名、3年生4名、4年生2名

「商業系等資格特別推薦入試奨学金」(2019年度入学生)

(資格) (1年次)商業系等資格特別推薦入試において志願時に奨学金対象資格を2つ以上保有している者
(2年次以降)上記のうち一定の成績条件をクリアした者
(支給方法) 減免
(支給期間) 4年間 ※毎年審査
(金額) 38万5千円
(2022年度実績) 4年生37名

「商業系等資格特別推薦入試奨学金(前期型)(中期型)・(後期型)」(2020・2021年度入学生)

(資格) (1年次)商業系等資格特別推薦入試において志願時に奨学金対象資格を2つ以上保有している者で、
入試成績上位20名(前期型)、入試成績上位10名(中期型・後期型)
(2年次以降)上記のうち一定の成績条件をクリアした者
(支給方法) 減免
(支給期間) 4年間 ※毎年審査
(金額) 38万5千円
(2022年度実績) 2年生5名、3年生6名

「資格利用型入試(前期型)奨学金」(2022 年度入学生)

(資格) (1 年次) 資格利用型入試(前期型)において志願時に奨学金対象資格を 2 つ以上保有している者で、
入試成績上位 20 名
(2 年次以降) 上記のうち一定の成績条件をクリアした者

(支給方法) 減免

(支給期間) 4 年間 ※毎年審査

(金額) 38 万 5 千円

(2022 年度実績) 1 年生 5 名

「海外留学等経験者入試奨学金」(2022 年度入学生)

(資格) (1 年次) 入試成績上位 5 名(得点率 70%以上の者)
(2 年次以降) 上記のうち一定の成績条件をクリアした者

(支給方法) 減免

(支給期間) 4 年間 ※毎年審査

(金額) 38 万 5 千円

(2022 年度実績) 1 年生 1 名

「指定校推薦(高大連携協定校)入試奨学金」

(資格) 指定校推薦入試(高大連携協定校)において志願時に本学が指定する資格 2 つを取得済みの者

(支給方法) 減免

(支給期間) 入学時 1 回限り

(金額) 30 万円(入学金相当額免除)

(2022 年度実績) 14 名

「編入学入試(協定校)奨学金」

(資格) 本学協定校に在籍し、編入学試験に合格した者

(支給方法) 減免

(支給期間) 入学時 1 回限り

(金額) 30 万円(入学金相当額免除)

(2022 年度実績) 6 名

「RYUKA 特別奨学金」(2019 年度入学生～2022 年度入学生)

(資格) (1 年次)

2019～2020 年度入学生:センター試験利用入試合格且つ一定条件を満たした者全員

2021～2022 年度入学生:大学入学共通テスト利用型入試合格且つ一定条件を満たした者全員

(2 年次以降) 上記のうち一定の成績条件をクリアした者

(支給方法) 減免

(支給期間) 4 年間 ※毎年審査

(金額) 授業料全額または半額

(2022 年度実績) 1 年生 18 名、2 年生 17 名、3 年生 37 名、4 年生 80 名

「流通科学大学卒業生子女入学奨学金」

(資格) 学校法人中内学園教職員又は流通科学大学卒業生の子女

(支給方法) 給付

(支給期間) 入学時 1 回限り

(金額) 対象者 1 名に対し 30 万円

(2022 年度実績) 3 名

「兄弟姉妹入学奨学金」

(資格) 新入生で兄弟姉妹が本学に在学中で、かつ兄弟姉妹が申請時に休学していない者

(支給方法) 給付
(支給期間) 入学時 1 回限り
(金額) 対象者 1 名に対し 10 万円
(2022 年度実績) 5 名

「日本学生支援機構(JASSO)奨学金」

(資格) 学校教育法に規定する大学に在学する学生で、学業・人物ともに優秀であり、かつ健康で、経済的理由により
修学が著しく困難である者

(選考)

- ・第一種奨学金
特に優れた学生で経済的理由により、著しく修学困難な者に貸与
- ・第二種奨学金
第一種奨学金より、ゆるやかな基準によって、選考された者に貸与

・給付奨学金(修学支援制度)

・給付奨学金(旧制度)

(支給方法) 貸与(第一種、第二種)、給付または減免(修学支援制度、旧制度)

(支給期間) 採用になった年の貸与開始から卒業までの最短修業期間

(金額)

- ・第一種奨学金
自宅通学者 2 万円、3 万円、4 万円、5 万 4 千円の中から選択
自宅外通学者 2 万円、3 万円、4 万円、5 万円、6 万 4 千円の中から選択
- ・第二種奨学金 2 万、3 万、4 万、5 万、7 万、8 万、9 万、10 万、11 万、12 万の中から選択
- ・給付奨学金(修学支援新制度)

自宅通学者 区分Ⅰ:3 万 8 千 3 百円(4 万 2 千 5 百円)、区分Ⅱ:2 万 5 千 6 百円(2 万 8 千 4 百円)、
区分Ⅲ:1 万 2 千 8 百円(1 万 4 千 2 百円)

※()内は、生活保護世帯および社会的養護を必要とする者

自宅外通学者 区分Ⅰ:7 万 5 千 8 百円、区分Ⅱ:5 万 6 百円、区分Ⅲ:2 万 5 千 3 百円

・給付奨学金(旧制度)

自宅通学者 3 万円

自宅外通学者 4 万円

(2022 年度実績) 第一種 634 名、第二種 864 名、給付奨学金(修学支援新制度)450 名、給付奨学金(旧制度)0 名
(備考) 返還 第一種奨学金＝無利子、第二種奨学金＝有利子

「(公財)瀧川奨学財団」

(資格) 兵庫県出身者の者で、学業優秀、品行方正、身体強健でありながら経済的理由で修学困難な者

(支給方法) 給付

(支給期間) 4 年間

(金額) 2 万 5 千円(月額)

(2022 年度実績) 4 名

「その他の奨学金」

三木市教育委員会奨学金[給付:月額 9 千円] … 5 名

交通遺児育英会奨学金[貸与:月額 4 万円または 5 万円または 6 万円] … 1 名

あしなが育英会[月額 7 万円(うち貸与 4 万円、給付 3 万円)または月額 8 万円(うち貸与 5 万円、給付 3 万円)] … 9 名

神戸やまぶき財団奨学金[給付:年額 101 万 2 千円] … 1 名

和佐見丸和財団奨学金[給付:2 ヶ月の額 10 万円] … 4 名

長崎県育英会[入学時一括貸与:70 万円] … 1 名

神戸市大学奨学金[給付:月額 1 万 5 千円または 2 万円] … 2 名

日本通運育英会奨学金[給付:月額 3 万円] … 1 名

『留学生・社会人・帰国生徒対象の奨学金制度』

「中内学園特別奨学金」

(主旨)

本学が育てたい人物像として掲げる「ネアカ のびのび へこたれず」の精神にふさわしい学業成績基準及び学業成績以外基準を満たした者に、その成果を称え、更なる向上を奨励することを目的に支給する。

(資格)

- ・各学年 8 名以内
- ・留学生、社会人入試、帰国生徒入試入学者
- ・学業・人物ともに優秀であること
- ・経済的理由により修学が困難と認められること
- ・アジアスカラシップを除く他の奨学金受給、及び授業料減免の学生は対象外

(支給方法) 給付

(支給期間) 1 年間

(金額) 63 万 6 千円(年額)

(2022 年度実績) 2 年生 7 名、3 年生 6 名、4 年生 6 名

「私費外国人留学生授業料減免」

(主旨)

学業・人物ともに優秀であり、かつ経済的理由により修学が困難と認められる「留学」の資格を持つ外国人留学生に対し免除する。

(資格)

- ・私費外国人留学生
- ・学業・人物ともに優秀であること
- ・経済的理由により修学が困難と認められること

(支給方法) 授業料 免除

(支給期間) 1 年間

(金額) 授業料の 100%(院のみ)、50%もしくは 30%

(2022 年度実績) 授業料 100%減免 学部生 0 名、大学院生 10 名
授業料 100%減免(半期のみ) 学部生 0 名、大学院生 1 名
授業料 50%減免 学部生 9 名、大学院生 8 名
授業料 50%減免(半期のみ) 学部生 1 名、大学院生 0 名
授業料 30%減免 学部生 405 名、大学院生 0 名
授業料 30%減免(半期のみ) 学部生 16 名、大学院生 0 名

「私費外国人留学生精勤者等授業料減免」

(主旨)

学業・人物ともに優秀であり、「留学」の資格を持つ外国人留学生に対し免除する。

(資格)

- ・私費外国人留学生
- ・学業・人物ともに優秀であること

(支給方法) 授業料 免除

(支給期間) 1 年間

(金額) 授業料の 100%(院のみ)、50%もしくは 30%

(2022 年度実績) 授業料 100%減免 学部生 0 名、大学院生 4 名
授業料 50%減免 学部生 3 名、大学院生 5 名
授業料 30%減免 学部生 154 名、大学院生 0 名
授業料 30%減免(半期のみ) 学部生 5 名、大学院生 0 名

「アジアスカラシップ」

(主旨)

外国人留学生特別指定校推薦入試で合格し、特に優秀な成績を収め入学するアジア各国の留学生で、留学に係る学資の支弁が困難な者に対して支給する。

(資格)

アジア各国の国籍を保有する成績優秀者で、学費の支弁が困難な者。但し、外国人留学生特別指定校推薦入試による授業料半額免除と重複する場合は、本奨学金のみを対象とする。

(支給方法) 授業料 免除

(支給期間) 2年間～4年間

(金額)

(1) 1年次 80万円(年額)、2年次 20万円(年額)、3年次以降は支給なし

(2) 1年次 120万円(年額)、2年次 60万円(年額)、3年次以降は支給なし

(3) 1年次 120万円(年額)、2年次 110万円(年額)、3年次 110万円(年額)、4年次 110万円(年額)

(2022年度実績)(1)2名(半期)、(2)0名、(3)4名

「外国人留学生特別指定校推薦入試奨学金」

(主旨)

外国人留学生特別指定校からの推薦による留学生入試に出願し、合格した者の授業料半額(38万5千円)を免除

(資格)

外国人留学生特別指定校推薦入試で合格し入学した者。但し、アジアスカラシップ制度による奨学金を受給する者は、本制度の対象としない。

(支給方法) 授業料 免除

(支給期間) 4年間 ※毎年審査

(金額) 38万5千円(年額)

(2022年度実績) 31名

「外国人留学生編入学試験奨学金」

(主旨)

外国人留学生対象の入試で合格し、編入学生として入学する留学生に対して、授業料30%(23万1千円)を免除

(資格)

外国人留学生対象の編入学試験で合格し入学した者(「留学」の資格を持つ外国人留学生)を対象とする。

(支給方法) 授業料 免除

(支給期間) 2～3年間 ※毎年審査

(金額) 23万1千円(年額)

(2022年度実績) 17名

「特別指定校からの推薦による外国人留学生編入学試験奨学金」

(主旨)

外国人留学生対象の特別指定校からの推薦入試で合格し、編入学生として入学する者を対象とし、授業料半額(38万5千円)を免除

(資格)

特別指定校からの推薦による外国人留学生対象の編入学試験で合格し入学した者

(支給方法) 授業料 免除

(支給期間) 2～3年間 ※毎年審査

(金額) 38万5千円(年額)

(2022年度実績) 6名

「Welcome to KOBE 奨励金」

(主旨)

流通科学大学がある「神戸」で学ぶ留学生を支援する奨励金として、1年次前期授業料から20万円を免除

(資格)

外国人留学生を対象とした入試方式で入学した者

(支給方法) 授業料 免除

(支給期間) 入学時1回限り

(金額) 20万円

(2022 年度実績) 218 名

「外国人留学生日本語能力奨学金」

(主旨)

日本語能力試験 N1 相当及び N2 相当の資格を取得している者を対象に奨学金相当額を減免又は給付

(資格)

外国人留学生を対象とした入試方式で入学した者

(支給方法) 授業料 免除または給付

(支給期間) 入学時 1 回限り

(金額) 日本語能力試験 N1 相当資格取得者 20 万円、日本語能力試験 N2 相当資格取得者 10 万円

(2022 年度実績) 日本語能力試験 N1 相当資格取得者 22 名

日本語能力試験 N2 相当資格取得者 131 名

「学習奨励費」

(主旨)

学習の成果を称え、更なる向上を奨励するために、成績優秀な「留学」の資格を持つ外国人留学生に対し支給する。

(資格)

- ・留学生入試入学者
- ・学業・人物ともに優秀であること
- ・経済的理由により修学が困難と認められること

(支給方法) 給付

(支給期間) 1 年間

(金額) 学部生 4 万 8 千円(月額) 大学院生 4 万 8 千円(月額)

(2022 年度実績) 学部生 5 名(うち、3 名は 6 ヶ月採用)

(備考) 財源: 文部科学省

「ロータリー米山奨学金」

(主旨)

将来母国と日本との懸け橋となって国際社会で活躍する優秀な留学生を奨学することを目的としています。

(資格)

指定校となっている大学院修士課程 1、2 年生を対象とする。

(支給方法) 給付

(支給期間) 最長 2 年間

(金額) 14 万円(月額)

(2022 年度実績) 大学院生 1 名

(備考) 財源: 日本全国のロータリアン(ロータリークラブ会員)の寄付金

「その他の奨学金」

イオン 1%クラブ奨学金・・・2022 年度実績 学部生 9 名(うち 2 名は半期)

JEES 日本語教育普及奨学金・・・2022 年度実績 学部生 0 名

六甲奨学金・・・2022 年度実績 学部生 0 名

平和中島財団奨学金・・・2022 年度実績 学部生 0 名

神戸市留学生奨学金(神戸・菅原奨学金)・・・2022 年度実績 学部生 2 名

和佐見丸和財団奨学金[給付:2 ヶ月の額 10 万円]・・・2022 年度実績 学部生 1 名